

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 113-8602
 住 所 東京都文京区千駄木1-1-5
 氏 名 学校法人 日本医科大学
 理 事 長 坂本 篤裕 印
 (代理人) 武蔵小杉病院 院長 田島 廣之
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 日本医科大学		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市中原区小杉町1丁目396番地		
該当する事業者 の要	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,231	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
		電話番号	
		FAX番号	
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ～ 平成30年度 (報告年度 平成29年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 4,466 t-CO ₂ (調) 4,402 t-CO ₂	(実) 4,561 t-CO ₂ (調) 4,495 t-CO ₂	(実) 4,484 t-CO ₂ (調) 4,419 t-CO ₂	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 4,452 t-CO ₂ (調) t-CO ₂
削減率		(実) -2.1 % (調) -2.1 %	(実) -0.4 % (調) -0.4 %	(実) % (調) %	(実) 0.3 % (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	建て替え計画に伴い、省エネ活動は現状設備の維持保全/運用改善に頼らざるを得ず、以下の理由等から基準年度比2.1%の増加となった。 ・2016年9月は、前年同月比で平均気温が2℃近く上昇し、電力量も10%程度増大。（9月程では無いが、6月、11月も同様の傾向）
第2年度	間近に迫った建て替え計画のため、既存施設における設備投資は困難な状況となっている。省エネ活動に関しても同様で、現状設備の維持保全を最優先としながら、可能な限りの運用改善に努めるしかない状況。第1年度と比較すると排出量を削減することができたが、基準年度と比較すると、0.4%増となっている。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○主要設備等の保安全管理 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録等の管理 ○空気調和の管理 ○新設、更新等における措置
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備:省エネ対策の整備に向け関係箇所と調整中、併せて責任者の明確化、マニュアル類の整備を進行中 ○主要設備等の保安全管理:マニュアルに基づいた設備点検管理を強化し、省エネ対策の一環として、経年設備の延命対策を実施中(以下、実施内容) <ul style="list-style-type: none"> ○館屋上 2号冷却塔整備作業, A館地下 冷温水ポンプ整備作業, ○液体酸素関連施設整備作業, A館屋上 全熱交換器整備作業 ○BEMSのデータを利用してエネルギー使用量の把握、計測、記録等の管理実施 ○管理標準に基づいたフィルター清掃等の、空気調和の管理実施 ○新設、更新等における措置 <ul style="list-style-type: none"> ・更新機器について随時トップランナー機器へ置き換え ・更新を実施する照明装置はLED等の省エネ型器具を採用
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備:第1回省エネ推進委員会を実施、併せて責任者の明確化、マニュアル類の整備を進行中 ○主要設備等の保安全管理:マニュアルに基づいた設備点検管理を強化し、省エネ対策の一環として、経年設備の延命対策を第1年度から継続して実施中(以下、実施内容) <ul style="list-style-type: none"> ○館屋上 2号冷却塔整備作業,A館地下 冷温水ポンプ整備作業, ○液体酸素関連施設整備作業,A館屋上 全熱交換器整備作業 ○BEMSのデータを利用してエネルギー使用量の把握、計測、記録等の管理実施 ○管理標準に基づいたフィルター清掃等の、空気調和の管理実施 ○新設、更新等における措置 <ul style="list-style-type: none"> ・更新機器について随時トップランナー機器へ置き換え ・更新を実施する照明装置はLED等の省エネ型器具を採用
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">○エネルギーの使用の合理化に関する法律の準拠による管理の徹底○廃棄物の分別の徹底による総量削減○敷地内の植栽の管理○病院職員の公共交通機関での通勤の徹底
第1年度	<ul style="list-style-type: none">○継続して、廃棄物の分別の徹底を実施した。○敷地内の植栽の管理を徹底し年1回以上の剪定を行った。○病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。(啓蒙活動のみ)
第2年度	<ul style="list-style-type: none">○継続して、廃棄物の分別の徹底を実施した。○敷地内の植栽の管理を徹底し年1回以上の剪定を行った。○病院職員の公共交通機関での通勤の啓蒙を図った。(啓蒙活動のみ)
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	4,348	t-CO ₂
(調)	4,262	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本医科大学武蔵小杉病院	神奈川県川崎市中原区小杉町1-396	8311	一般病院	4,348 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--